

MORESCO (5018)

連結通期 (百万円)		売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	EPS (円)	DPS (円)	BPS (円)
FY02/2023		30,333	523	1,046	615	66.19	40.00	2,008.49
FY02/2024		31,886	1,225	1,826	1,283	139.01	45.00	2,179.85
FY02/2025会予		34,000	1,500	1,850	1,050	114.50	45.00	-
FY02/2024	前年比	5.1%	134.2%	74.6%	108.8%	-	-	-
FY02/2025会予	前年比	6.6%	22.5%	1.3%	(18.2%)	-	-	-
連結中間期 (百万円)		売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する中間純利益	EPS (円)	DPS (円)	BPS (円)
1Q-2Q FY02/2024		15,386	528	933	569	-	-	-
3Q-4Q FY02/2024		16,500	697	893	714	-	-	-
1Q-2Q FY02/2025		17,102	671	965	576	-	-	-
3Q-4Q FY02/2025会予		16,898	829	885	474	-	-	-
1Q-2Q FY02/2025	前年比	11.2%	27.0%	3.4%	1.1%	-	-	-
3Q-4Q FY02/2025会予	前年比	2.4%	18.9%	(0.9%)	(33.6%)	-	-	-

出所: 会社データ、弊社計算

1.0 エグゼクティブサマリー (2024年12月6日)

MGS 製品

自動車を中心とする多用途に用いられる化学品の研究開発・製造・販売を展開する MORESCO は、MORESCO Green SX 認定製品 (MGS 製品) への取り組みを中核として、第 10 次中期経営計画 (2025 年 2 月期~2027 年 2 月期) を推進していくとしている。同社が計画しているところによれば、2024 年 2 月期の実績を起点とした場合の当該期間に向けての年平均成長率 (CAGR) は、売上高にして 6.0% であり、営業利益にして 30.1% である。また、営業利益率は 3.8% から 7.1% へと 3.3% ポイント上昇することになる。同社は、環境負荷の低減などに寄与することから付加価値及び売上総利益率が相対的に高いとされる MGS 製品の拡販を推進することを通してセールスマックスの向上を推進していくとしている。また、これをもって上述にある通りの大幅な増益を達成することが計画されている。2025 年 2 月期第 2 四半期 (中間期) の実績においては、MGS 製品として認定されている排水処理装置の販売が大きく拡大しており、中期経営計画に沿った MGS 製品の拡販が着実に進捗している模様である。2023 年 2 月期から 2024 年 2 月期に向けての MGS 製品売上高構成比は 29% から 33% に上昇している一方、同社は、中期経営計画の最終年度である 2027 年 2 月期に対して 40% を達成することを計画している。

IR 担当: 取締役 上席執行役員 CFO サステナビリティ担当 藤本 博文

(078-303-9010 / hirofumi_fujimoto@moresco.co.jp)

2.0 会社概要

“境界領域”のスペシャリスト

商号	株式会社 MORESCO Web サイト IR 情報 最新株価 
設立年月日	1958 年 10 月 27 日
上場年月日	2023 年 10 月 20 日：東京証券取引所スタンダード市場（証券コード：5018） 2022 年 4 月 4 日：東京証券取引所プライム市場 2011 年 2 月 14 日：東京証券取引所第 1 部 2008 年 7 月 29 日：東京証券取引所第 2 部 2003 年 11 月 13 日：日本証券業協会店頭登録
資本金	2,118 百万円（2024 年 8 月末）
発行済株式数	9,696,500 株、自己株式内数 525,730 株（2024 年 8 月末）
特色	<ul style="list-style-type: none">● 独立系の化学品メーカー、自動車用途で売上高構成比 45%● ニッチ市場に特化、モノとモノが触れ合う“境界領域”のスペシャリスト● 潤滑・接着・表面保護といった機能を担う化学品の研究開発・製造・販売
セグメント	I. 日本 II. 中国 III. 東南／南アジア（タイ、インドネシア、インド） IV. 北米
代表者	代表取締役社長 CEO 両角 元寿
主要株主	松村石油 11.6%、コスモ石油ルブリカンツ 5.4%、MORESCO 従業員持株会 4.5%、日本曹達 3.9%、スターライト工業 3.5%、みずほ銀行 2.7%、三菱 UFJ 銀行 2.7%（2024 年 8 月末、自己株式を除く）
本社	兵庫県神戸市
従業員数	連結 821 名、単体 387 名（2024 年 2 月末）

出所：会社データ

3.0 経営理念及び経営ビジョン

地球にやさしいオンリーワンを世界に届ける MORESCO グループ

独立系の化学品メーカーである同社は、グループ経営理念として、1) 私たちは、「ユーザーのための研究開発」をモットーに、境界領域におけるニーズに応えることによって、社会に貢献できる企業グループを目指します、2) 私たちは、境界領域のスペシャリストとして、新しい分野へも展開をはかり、新たな機能とサービスを提供します、3) 私たちは、人間性を尊重する職場づくりと、自由な発想によって、新しい価値を創造する企業グループを目指します、以上を掲げていることに加えて、グループ経営ビジョンとして「地球にやさしいオンリーワンを世界に届ける MORESCO グループ/未来のために もっと化学 もっと輝く」を掲げている。また、同社は、2024年2月期の実績に基づいて[統合報告書](#)を創刊しており、経営戦略や財務戦略に加えて ESG 情報などの非財務情報を総合的に整理して開示している。

本社・研究センター



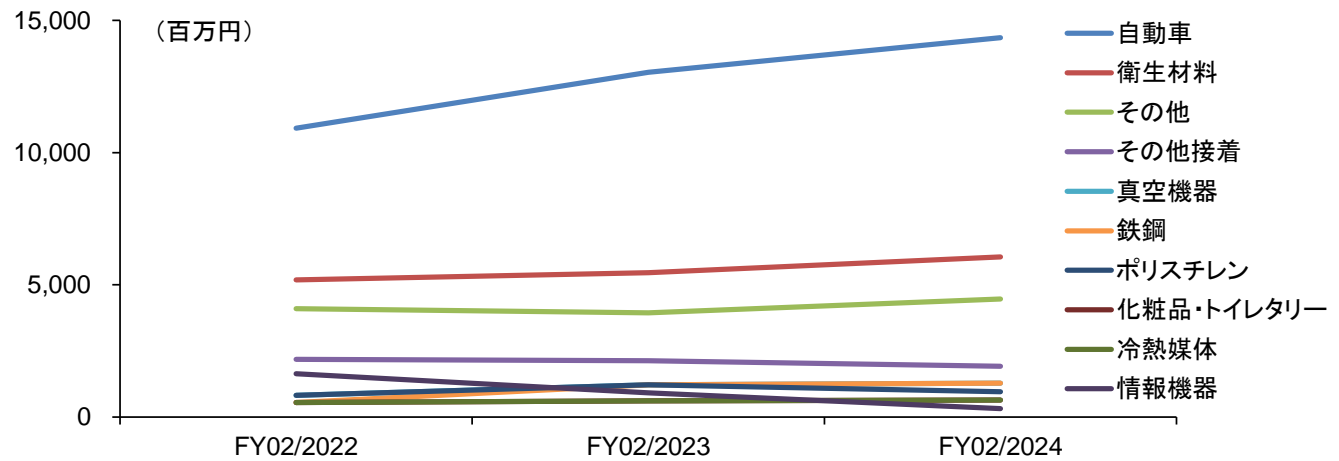
出所：会社データ

市場規模が小さいニッチ市場で圧倒的に大きなシェア

同社が研究開発・製造・販売している化学品の特徴として挙げられているのは、1) ニッチ市場に帰属していること、2) モノとモノが触れ合う“境界領域”に帰属していること、3) 自動車を中心とする多用途で用いられていること、以上である。即ち、同社においては、大手化学品メーカーが深く関与している市場規模が大きい製品に関与することなく、市場規模が小さいニッチ市場で圧倒的に大きなシェアを獲得していくことが目指されており、またこれが実際にもある程度以上に及んで達成されている。

同社によれば、1958年の創立以来、ブレンド・合成・精製技術を駆使し、オンリーワン製品やトップシェア製品を生み出し続けているとのことである。オンリーワン製品の事例としては、自動車向け高温用グリース基油（自社調査に基づく国内市場シェア：100%）が挙げられている一方、トップシェア製品の事例としては、水-グリコール系難燃性作動液（70%）、高真空ポンプ油（70%）、ダイカスト用離型剤（50%）、以上が挙げられている。なお、いわゆる“境界領域”においては、潤滑・接着・表面保護といった機能を担う化学品が必要とされているのだが、同社においては、当該領域に特化して事業展開を進めている側面が強く、この観点において同社は「“境界領域”のスペシャリスト」として位置づけられている。

売上高（用途別）



自動車	衛生材料	化粧品・トイレタリー	情報機器
			

出所：会社データ

自動車用途で売上高構成比 45%

同社としての売上高は、2023年2月期に対して30,333百万円（前年比11.1%増）であるのに引き続いて、2024年2月期に対して31,886百万円（5.1%増）である。当該期間においては、自動車用途の売上高の増加が同社としての増収に最も大きく寄与しているとされており、前者は後者の増収幅の概ね70%ほどを占めている模様である。結果、2024年2月期の実績としては自動車用途で売上高構成比45%とのことである。また、その売上高の多くは、部門別で主力となる特殊潤滑油部門に帰属する製品の売上高（2024年2月期の実績：売上高構成比55.1%）によって構成されている。

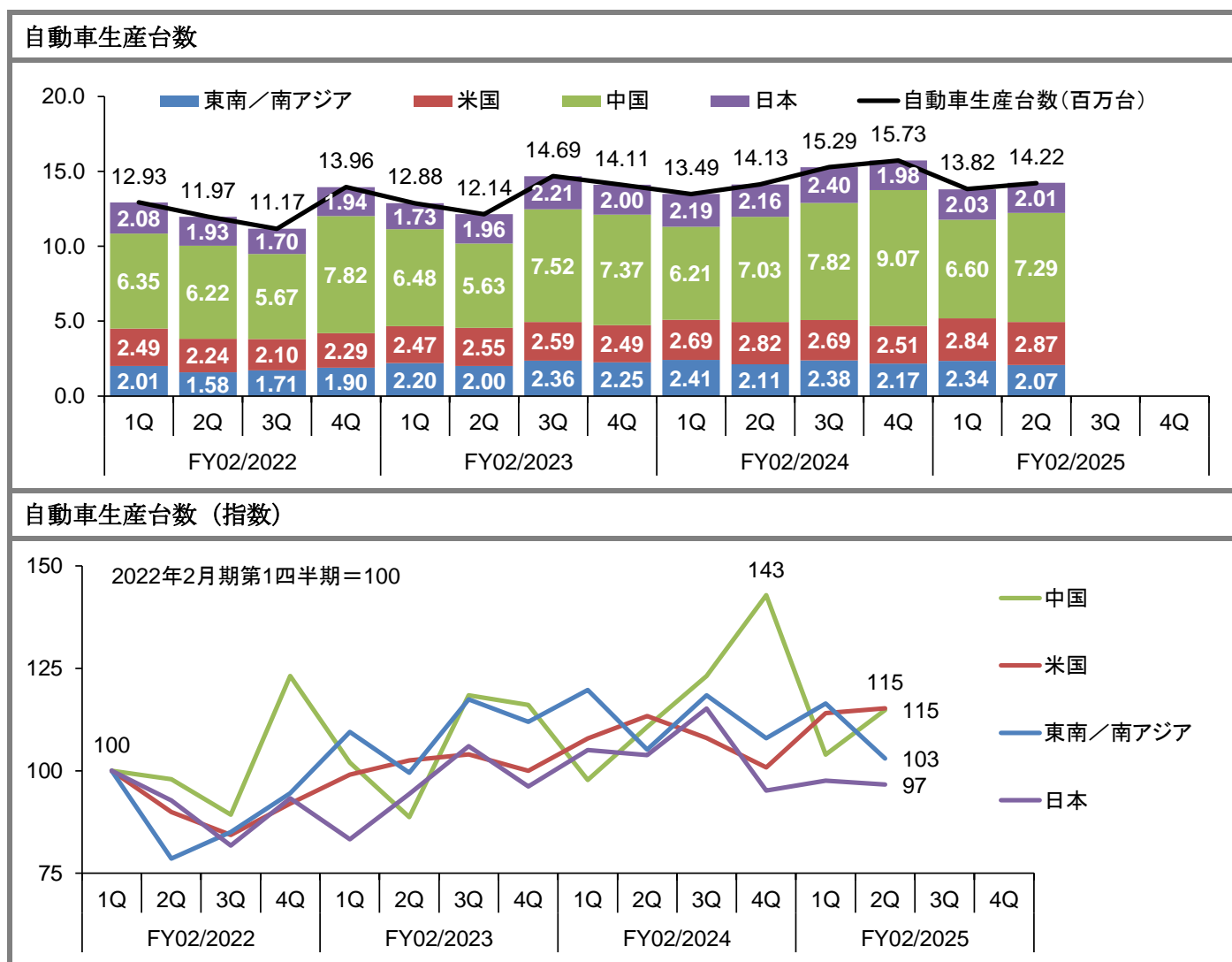
具体的には、ダイカスト油剤、切削油、鍛造油などである。作動油や真空油も特殊潤滑油部門に帰属する製品として挙げられているのだが、前者は基本的に鉄鋼用途に用いられている一方、後者に関しては多用途に用いられている側面が強いとされている。例えば、特殊潤滑油部門における主力であるダイカスト油剤は、ダイカスト用離型剤及びプランジャー潤滑油から構成されている。ダイカスト用離型剤は、アルミニウムやマグネシウムといった非鉄金属の合金を素材とする自動車部品をダイカストマシンで鋳造（溶かした非鉄金属の合金を精密な金型に高速・高圧で注入し瞬時に製品を成形）する際に、高温の非鉄金属の合金と金型を離型するために用いられているとのことである。また、2025年2月期第1四半期より、旧合成潤滑油部門が特殊潤滑油部門と統合されるに至っていることから、高温用潤滑剤やハードディスク表面潤滑剤なども特殊潤滑油部門に帰属する製品となっている。なお、本レポートにおける数値は遡及修正後のデータに基づいている。

用途別で次に同社としての増収幅に対して寄与度が大きいのは、衛生材料用途（主に紙オムツ向け）であり、同社としての増収幅の概ね 20%ほどを占めている模様である。また、その売上高はホットメルト接着剤部門（売上高構成比 26.4%）の中核を形成している。

一方、情報機器用途の売上高が大幅に減少している。その減収幅は同社としての増収幅に対して概ね 30%ほどにも及んでいる模様である。情報機器用途の売上高とは、則ち、旧合成潤滑油部門に含まれていた、ハードディスク表面潤滑剤の売上高のことである。また、同社の開示によれば、同社としての売上高は 10 用途に分類できることになるのだが、残る 7 用途の過去 2 年間ににおける売上高の動向は、上述の 3 用途の売上高の動向に対して比較的限定的な動きを示すに留まっているとのことである。

自動車生産台数

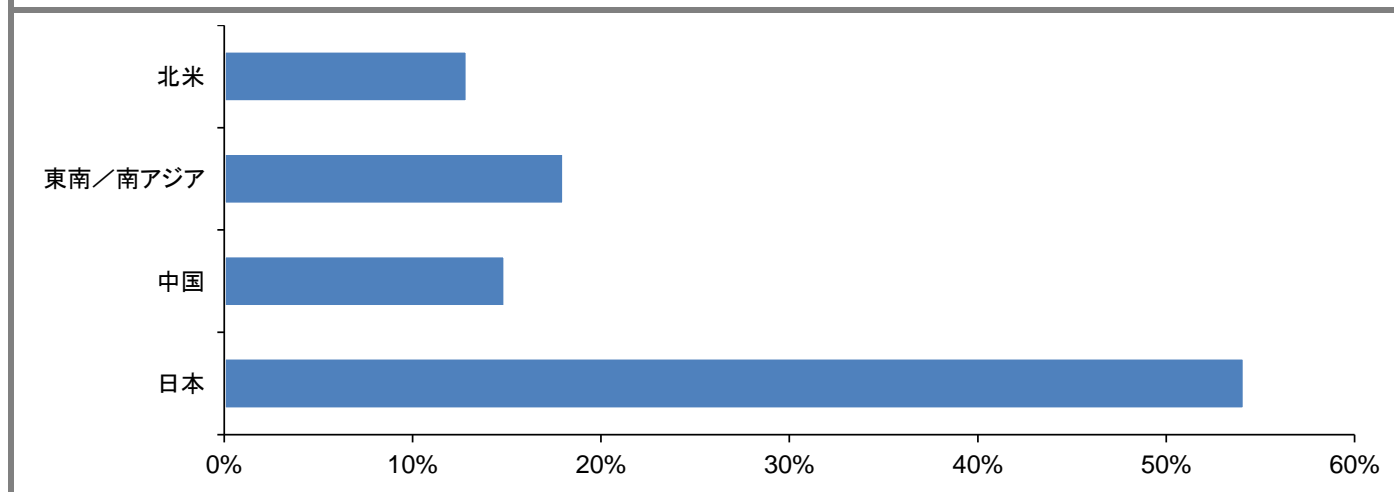
上述の通り、自動車用途に深く関与している同社は、自動車生産台数の推移を同社としての経営環境に大きな影響を与える要素として挙げている。なお、もう 1 つの要素として挙げられているのは、原材料調達コストである。2025 年 2 月期第 2 四半期（中間期）の実績における自動車生産台数は、日本で 4.04 百万台（前年同期比 7.0% 減）、中国で 13.89 百万台（4.9% 増）、米国で 5.71 百万台（3.7% 増）、東南/南アジア（タイ、インドネシア、インド）で 4.41 百万台（2.5% 減）である。即ち、同社の拠点所在地における自動車生産台数は、総計 28.04 百万台（1.6% 増）で着地していることになる。



出所：会社データ、弊社計算

また、以上のデータの出所はマークラインズ社である。日本においては当該会計期間（2024年3月～2024年8月）の実績が反映されている一方、決算期末を12月とする現地の子会社を通して事業が展開されている海外に関しては、現地での会計期間（2024年1月～2024年6月）の実績が反映されており、結果的に以上の自動車生産台数は、いずれにおいても2025年2月期第2四半期（中間期）の同社としての業績推移に呼応しているとのことである。

特殊潤滑油部門における地域別売上高構成比：2025年2月期第2四半期（中間期）

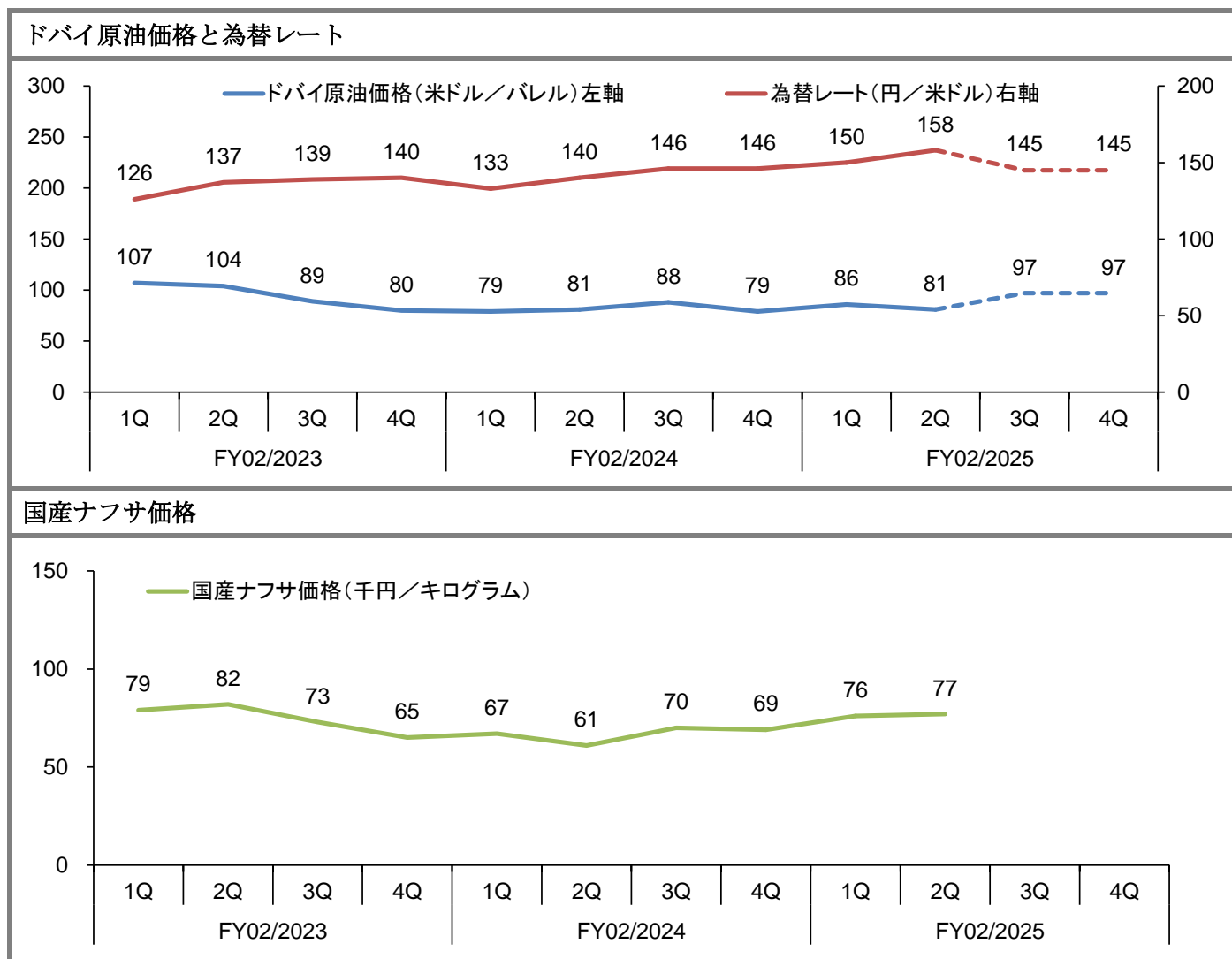


出所：会社データ、弊社計算

自動車用途の売上高のかなりの部分が含まれている、特殊潤滑油部門の地域別売上高構成比（旧合成潤滑油部門除く）においては、日本の構成比が50%を超過している。これに鑑みれば、同社としての自動車用途の売上高は、日本における自動車生産台数から特に大きな影響を受ける傾向にあると考えられる一方、第2四半期（中間期）においてはこれが低水準での推移を余儀なくされている。同社によれば、不正認証問題による減産が影響しているとのことである。一方、中国においては、電気自動車（EV）、プラグインハイブリッド車（PHV）、燃料電池車（FCV）といった、いわゆる新エネルギー車の生産台数が大きく拡大しているとのことである。また、東南／南アジア（タイ、インドネシア、インド）での生産台数が落ち込んでいる背景として挙げられているのは、インドネシア及びタイにおける生産台数が落ち込んでいることである。インドでは生産台数が増加しているものの、両国における落ち込みを補えるまでには至っていないとされている。そして、米国での自動車生産台数は高水準を維持している。

原材料調達コスト

ナフサ（粗製ガソリン）に由来する原材料の調達に深く関与している同社においては、原油価格の動向が、同社としての原材料調達コストに対して大きな影響を及ぼしている。同社が、原材料調達コストの動向を示す指標として挙げているのは、ドバイ原油価格（米ドル／バレル）、為替レート（円／米ドル）、国産ナフサ価格（千円／キログラム）、以上である。



出所：会社データ

即ち、同社が調達する原材料のコストは、国産ナフサ価格（千円／キログラム）の動向によって決定される度合いが大きい一方、国産ナフサ価格（千円／キログラム）の動向は、円建てドバイ原油価格によって決定される度合いが大きいことが示唆されていると考えられよう。なお、2025年2月期に対する会社予想の前提との比較にも鑑みた、第2四半期（中間期）におけるそれぞれの動向は下記の通りである。

ドバイ原油価格（米ドル／バレル）

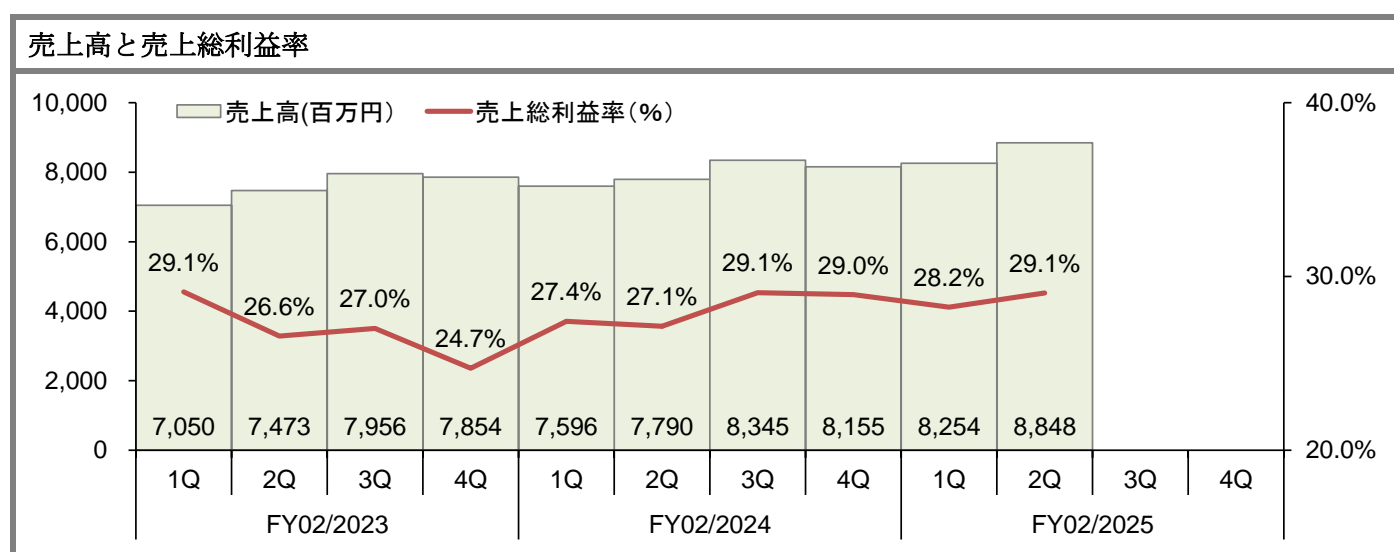
前年同期比及び時系列的な推移において緩やかな上昇傾向を示している。一方、会社予想の前提（97米ドル／バレル）との比較においては下振れた水準に留まっており、この分だけ同社としての原材料調達コストが小さくなることが示唆されている。ただし、同社によれば、中東情勢の緊迫化など地政学的リスクは依然不透明であり、今後の動向に注視する必要があるとのことである。

為替レート（円／米ドル）

前年同期比及び会社予想の前提（145 円／米ドル）との比較において円安に振れており、この分だけ同社としての原材料調達コストが大きくなることが示唆されている。しかしながら、同社には一定の米ドル建ての売上高があることから、損益面においてはここからの影響が相殺される側面も認められる模様である。

国産ナフサ価格（千円／キログラム）

2024 年 2 月期第 2 四半期に大底を打って以来、緩やかな上昇傾向が引き続いている一方で、会社予想の前提との比較では下振れた水準に留まっている模様である。これに鑑みれば、この分だけ同社としての損益が向上する方向性にあるとも考えられよう。ただし、現実問題としてはやや異なる方向性にあることが示唆されている。同社においては、ナフサ（粗製ガソリン）以外に由来する、原油から精製される原材料の調達に対する関与もあるとのことである。現状においては、この領域の一部において価格高騰が発生しており、この分だけ損益が悪化する方向性が認められるとのことである。



出所：会社データ、弊社計算

一方、過去 10 四半期における同社としての売上総利益率の動向においては、緩やかな V 字回復が引き続く方向性が認められる。同社が示唆するところに基づけば、原材料調達コストの変動による包括的な影響は下記の通りである。2023 年 2 月期においては高騰の後の調整局面が既に発生しているものの、過去の高騰を販売単価へ転嫁することが難しい局面が引き続いているとのことである。ただし、2024 年 2 月期に入ってからこれは着実に進捗しているのに引き続いて、2025 年 2 月期に入ってから更にその傾向が加速している模様である。第 2 四半期（中間期）においては、為替が円安振れていることやセールスマックスが変化していることによる影響も含めてとなるのだが、同社としての販売単価は前年同期に対して 5%以上に及んで上昇している模様である。

沿革（抄）

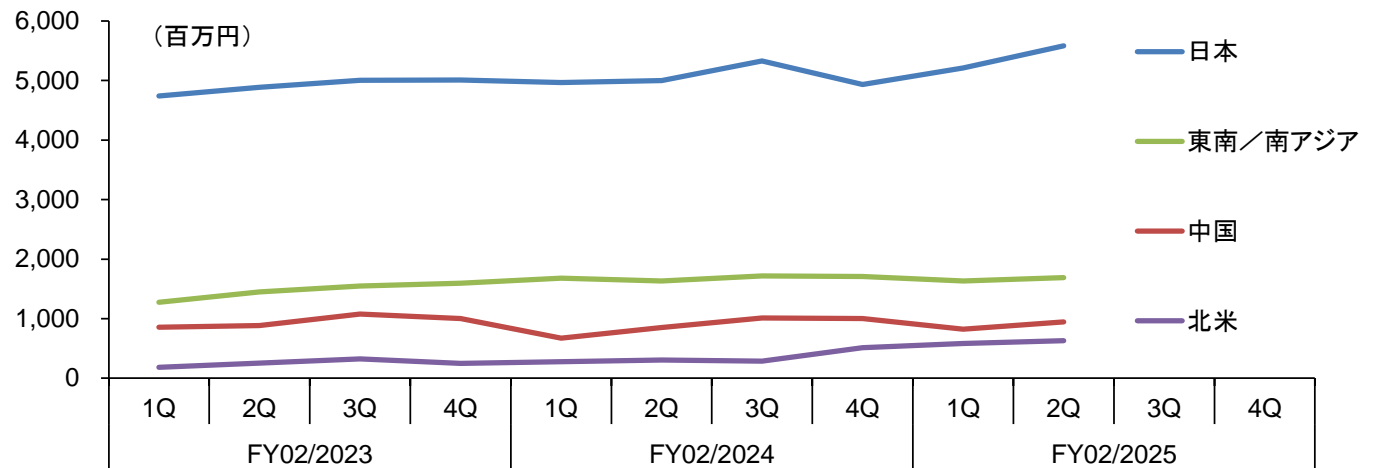
年月	概要
1958年10月	松村石油株式会社より研究室を分離し同社設立
1959年12月	兵庫県西宮市に本社・西宮工場建設 高真空ポンプ油等特殊潤滑油及び合成潤滑油を製品化
1962年3月	水グリコール型難燃性作動液を製品化
1965年12月	千葉県市原市に千葉工場建設 流動パラフィン、石油スルホネートを量産化
1986年9月	兵庫県赤穂市に赤穂工場建設 ホットメルト型接着剤を量産化
1990年11月	赤穂工場第2期工事・潤滑油製造ライン完成
1995年6月	タイ・チョンブリ県に MORESCO (Thailand) Co. Ltd.設立
2001年1月	本社・研究センターを神戸市中央区へ移転
2001年3月	中国・無錫市に台湾企業と合併で無錫徳松科技有限公司設立
2001年11月	大阪市中央区に「MORESCO 本町ビル」を建設し、大阪支店を移転
2001年3月	赤穂工場第3期工事・潤滑油蒸留装置他を西宮工場より移転
2003年2月	タイ・チョンブリ県に MORESCO Holding (Thailand) Co. Ltd.を設立
2003年11月	日本証券業協会に株式を店頭登録
2004年12月	日本証券業協会への店頭登録を取消し、ジャスダック証券取引所に株式を上場
2006年5月	米国・ミシガン州に MORESCO USA Inc.を設立
2008年7月	東京証券取引所市場第二部に株式を上場
2009年5月	中国・無錫市に 無錫松村貿易有限公司（現在、無錫莫莱斯柯貿易有限公司）を設立
2009年8月	株式会社花野よりダイカスト用離型剤に関する事業を譲受
2009年9月	商号を株式会社松村石油研究所から株式会社 MORESCO に変更
2010年2月	中国・上海市の莫莱斯柯花野压铸塗料（上海）有限公司を連結子会社化
2011年2月	東京証券取引所市場第一部銘柄に指定
2011年6月	インドネシア・カラワン県に PT.MORESCO INDONESIA を設立
2012年1月	インドネシア・ジャカルタ市に PT.MORESCO MACRO ADHESIVE を設立
2013年8月	日華化学株式会社よりダイカスト用油剤および熱間鍛造潤滑剤に関する事業を譲受
2014年3月	中国・天津市に 天津莫莱斯柯科技有限公司を設立
2017年2月	インド・グジャラート州アーメダバード市に MORESCO HM&LUB INDIA PRIVATE LIMITED を設立
2021年4月	「MORESCO 本町ビル」を売却
2022年3月	中国・海寧市に莫莱斯柯（浙江）功能材料有限公司を設立
2022年4月	東京証券取引所プライム市場へ移行
2022年11月	中国・海寧市に莫莱斯柯貿易(浙江)有限公司を設立
2023年10月	持分法適用関連会社であった無錫徳松科技有限公司の持分すべてを取得し連結子会社化
2023年10月	東京証券取引所スタンダード市場へ移行
2023年10月	CROSS TECHNOLOGIES GROUP, INC.より事業の全てを譲受け、米国・ミシガン州に CROSS TECHNOLOGIES N.A. INC.を設立

4.0 業績推移

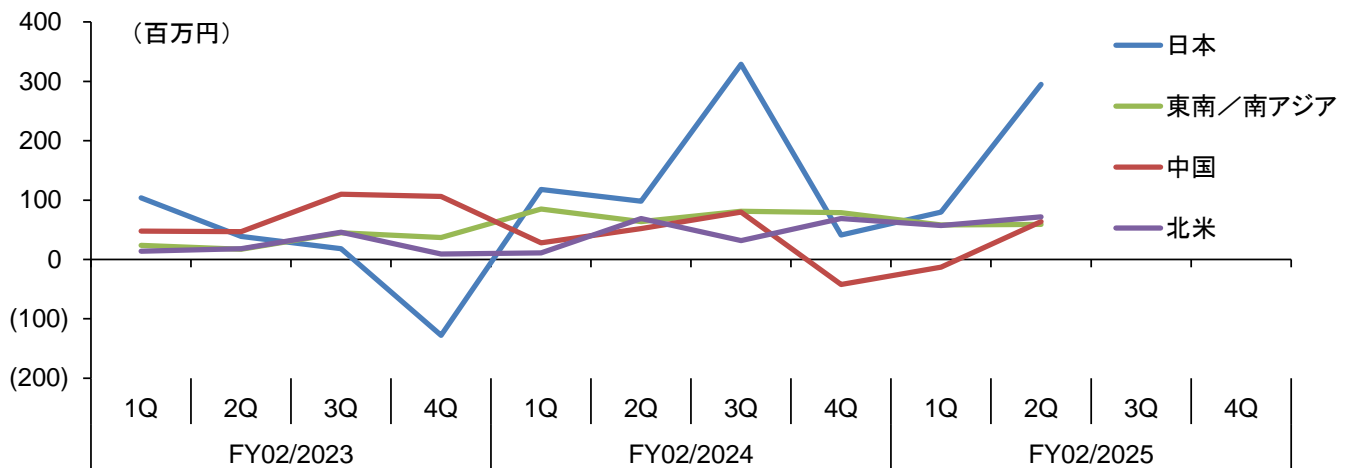
2025年2月期第2四半期（中間期）

2025年2月期第2四半期（中間期）は、売上高 17,102 百万円（前年同期比 11.2%増）、営業利益 671 百万円（27.0%増）、経常利益 965 百万円（3.4%増）、親会社株主に帰属する中間純利益 576 百万円（1.1%増）での着地である。なお、営業外損益が悪化している要因としては、為替差益が減少（268 百万円→149 百万円）していることが挙げられている。また、第1四半期より旧合成潤滑油部門が特殊潤滑油部門に統合されている。本レポートにおける数値は遡及修正後のデータに基づいている。

売上高（セグメント別）



セグメント利益



出所：会社データ、弊社計算

国内外で販売数量が増加していることに加えて、販売単価の是正による効果が発生していることから着実な増収・増益が達成されているとのことである。売上総利益 4,901 百万円（16.8%増）、販売管理費 4,230 百万円（15.3%増）であり、売上総利益率 28.7%（1.4%ポイント上昇）、売上高販売管理費率 24.7%（0.9%ポイント上昇）と、売上総利益率の向上に伴い営業利益率 3.9%（0.5%ポイント上昇）が達成されている。

セグメント別では、主力の日本で売上高 10,796 百万円 (8.3%増)、セグメント利益 375 百万円 (73.8%増)、セグメント利益率 3.5% (1.3%ポイント上昇) が達成されており、同社としての業績推移に対してかなり大きく寄与している。また、北米においても増収・増益が達成されている。一方、中国並びに東南／南アジア (タイ、インドネシア、インド) においては増収・減益での着地である。

日本においては、特殊潤滑油部門及びその他部門における増収による影響が大きくなっている。また、素材部門でも増収が確保されている。ポリスチレン可塑性用途向けの需要回復を主因として流動パラフィンの売上高が増加しているとのことである。一方、ホットメルト接着剤部門では売上高が前年同期と概ね同水準に留まっていることが示唆されている。

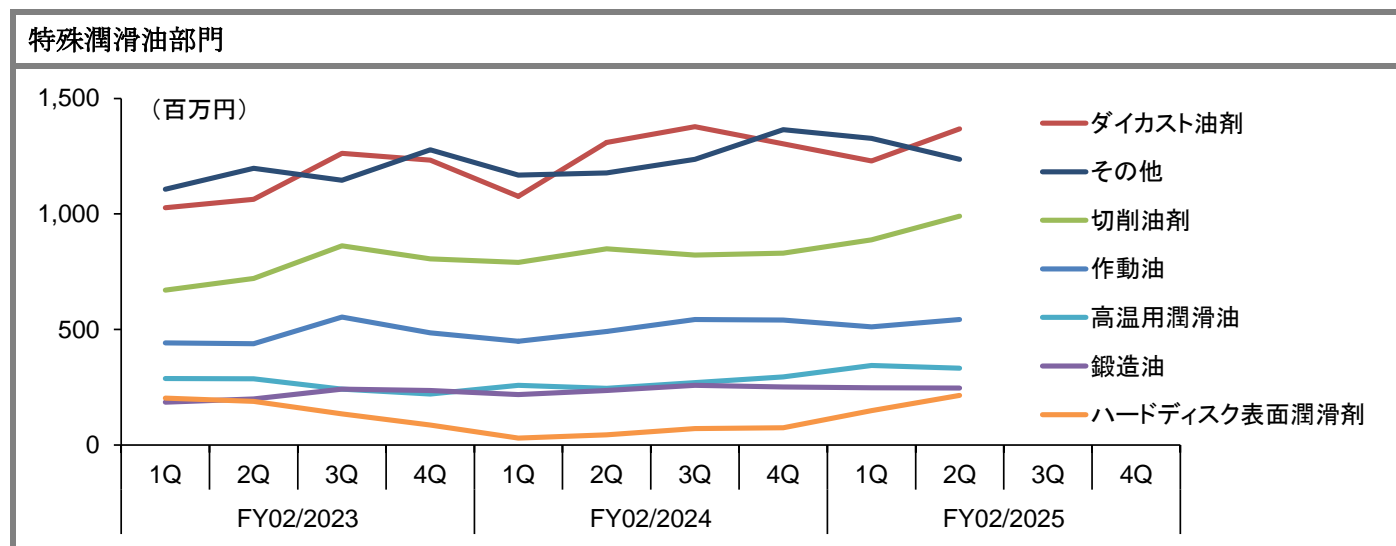
特殊潤滑油部門における増収の背景として挙げられているのは、第 1 四半期に引き続いて第 2 四半期においても、いわゆるデータセンター投資の回復に伴うハードディスク表面潤滑剤の大幅な増収が発生していることである。ハードディスク表面潤滑剤に対する需要はデータセンターに用いられる HDD に対する需要に大きく依存しているとされている。また、その他部門においては、子会社による排水処理装置の販売において大型案件の売上高が計上されている。なお、作動油やダイカスト油剤などでは減収となっているの、冷熱媒体などの販売が堅調に推移しているとのことである。

北米においては、売上高のほとんどを占める特殊潤滑油部門の売上高が前年同期に対して 2 倍増以上を達成している模様である。現地での自動車生産台数が増加していることに加えて、新規連結子会社による寄与が大きくなっているとのことである。

一方、事業部門別では、2025 年 2 月期第 2 四半期 (中間期) における動向に加えて、2025 年 2 月期に対する会社予想の前提が開示されている。更には、中期経営計画 (2025 年 2 月期～2027 年 2 月期) における前提も開示されている。具体的には下記の通りである。

特殊潤滑油部門（売上高構成比 56.3%）

2025年2月期第2四半期（中間期）において売上高 9,628 百万円（15.4%増）である一方、2025年2月期に対する会社予想では売上高 19,500 百万円（10.9%増）が見込まれている。また、中期経営計画の前提においては、最終年度である 2027年2月期に対して売上高 21,600 百万円が計画されており、2024年2月期の実績を起点とした場合の中期経営計画の期間における年平均増収率は 7.1%となる。



出所：会社データ

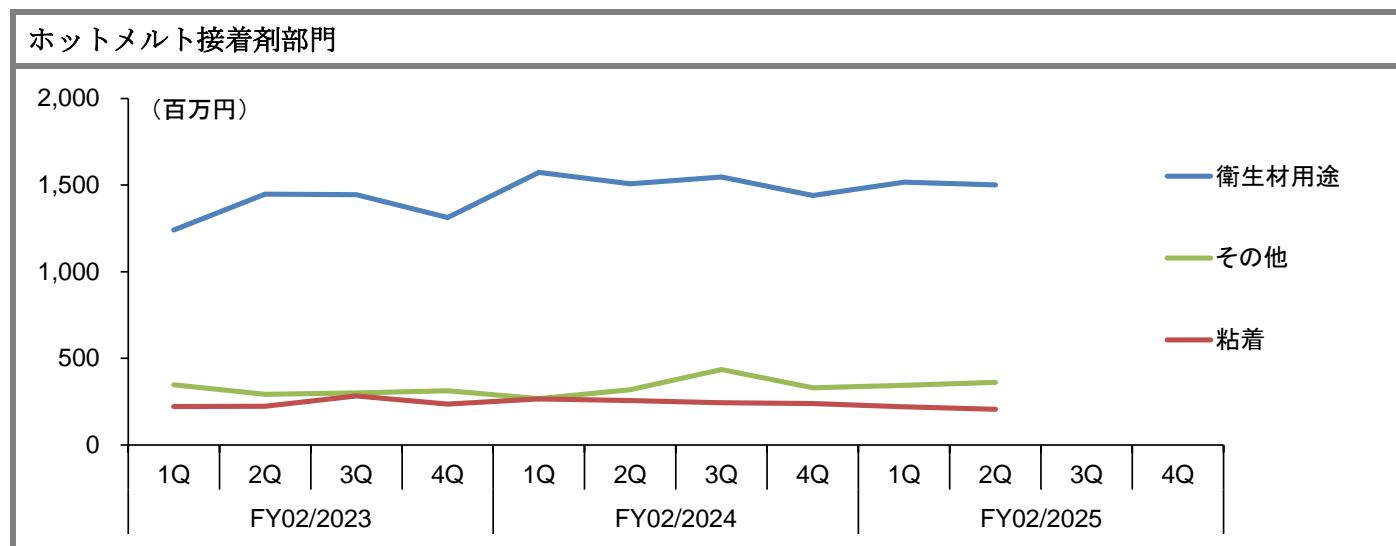
第2四半期（中間期）の実績においては、売上高が 15.4%増加している一方で販売数量が 6.3%増加しているとのことである。単純に試算すれば、販売単価は 8.5%上昇していることになる。自動車用途の売上高のかなりの部分が含まれている、特殊潤滑油部門では、地域別で主力となる日本における自動車生産台数が伸び悩んでいる影響が発生しているのだが、中国及び北米では MGS 製品として認定されている少量塗布型離型剤の販売が順調に推移していることに加えて、北米においては新規連結子会社による販売数量の純増が発生している。なお、少量塗布型離型剤の売上高は、この部門の主力であるダイカスト油剤の売上高に含まれている。

2023年8月22日、同社は、米国に所在する CROSS TECHNOLOGIES GROUP, Inc.（CROSS 社）との事業譲受契約を締結（譲受完了：2023年10月20日）したことを開示している。また、これをもって現地におけるダイカスト用離型剤の市場シェアを引き上げていくとのことである。ダイカスト用離型剤とは、プランジャー潤滑油と共にこの部門の主力であるダイカスト油剤を構成している製品のことであり、また、CROSS 社は、ダイカスト用離型剤に加えて、金属加工油、ポリウレタン、複合材産業向けの潤滑剤、更には、ダイカスト用離型剤などに使用する原材料を製造・販売しているとのことである。

同社は、当該事業譲受をもって現地で初となる生産拠点を確保することになったこともあり、現地での製品安定供給を強化していくことが可能となっている。また、潤滑油に係る原材料の内製化や開発に直接関与していくことから、従来以上に高性能の製品を量産することができるようになったとされている。更には、相手側の販路を活用して現地の自動車部品メーカーなどへの製品の納入を強化していくとのことである。米国におけるダイカスト用離型剤に関しては現地での市場シェアが概ね 3%（会社推計値、以下同様）ほどに留まっていたのだが、CROSS 社との合算ではこれが概ね 7%ほどまでに上昇しているとのことである。今後に向けては、両者の強みを活かした相乗効果を追求して、2030年迄に市場シェアにして概ね 15%ほどを達成することを目標としているとのことである。

ホットメルト接着剤部門（売上高構成比 24.3%）

2025年2月期第2四半期（中間期）において売上高 4,152 百万円（1.0%減）である一方、2025年2月期に対する会社予想では売上高 8,400 百万円（0.4%減）が見込まれている。また、中期経営計画の前提においては、最終年度である 2027年2月期に対して売上高 9,600 百万円が計画されており、2024年2月期の実績を起点とした場合の中期経営計画の期間における年平均増収率は 4.4%となる。

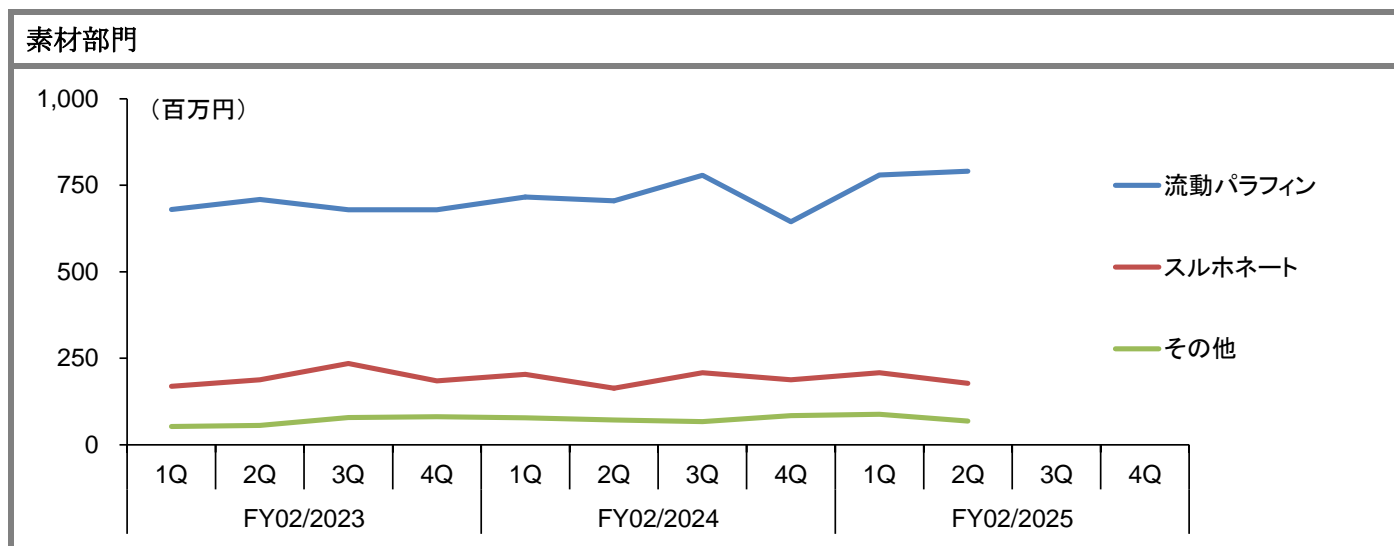


出所：会社データ

第2四半期（中間期）の実績においては、売上高が 1.0%減少している一方で販売数量が 0.5%増加しているとのことである。単純に試算すれば、販売単価は 1.4%下落していることになる。同社によれば、主力の衛生材料用途（主に紙オムツ向け）の販売数量が伸び悩んでいるとのことである。特に、東南／南アジア（タイ、インドネシア、インド）において、新生児用紙オムツに対する需要が減退している影響が大きいとされている。また、この部門に限っては、原材料調達コストの高騰が発生しており、損益面における影響がしばらく引き続く方向性にあることが示唆されている。同社によれば、主力の衛生材料用途（主に紙オムツ向け）の原材料である石油樹脂に関して供給面での問題が発生しているとのことである。

素材部門（売上高構成比 12.4%）

2025年2月期第2四半期（中間期）において売上高 2,114 百万円（9.0%増）である一方、2025年2月期に対する会社予想では売上高 4,000 百万円（2.3%増）が見込まれている。また、中期経営計画の前提においては、最終年度である 2027年2月期に対して売上高 4,300 百万円が計画されており、2024年2月期の実績を起点とした場合の中期経営計画の期間における年平均増収率は 3.2%となる。

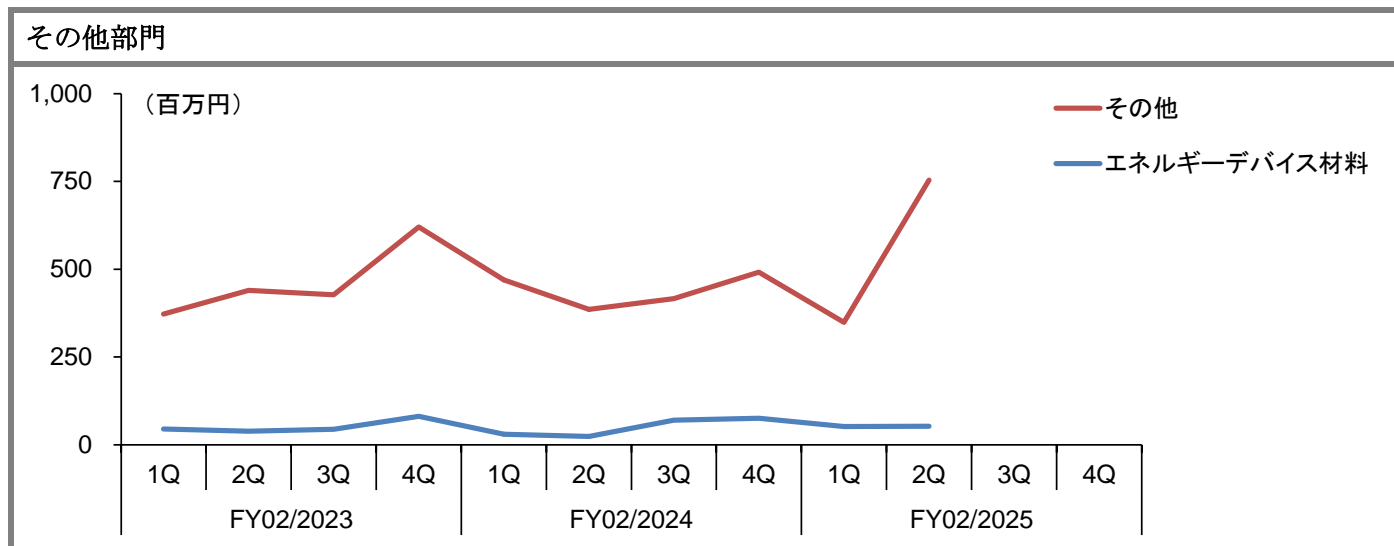


出所：会社データ

第2四半期（中間期）の実績においては、売上高が 9.0%増加している一方で販売数量が 7.2%増加しているとのことである。単純に試算すれば、販売単価は 1.7%上昇していることになる。主力の流動パラフィンの販売数量が堅調に推移しているとのことである。背景として挙げられているのは、ポリスチレン可塑剤用途における市場動向が回復していることである。例えば、化粧品やベビーオイルの添加剤などとして用いられるとされている。なお、環境に優しい側面に鑑みて、流動パラフィンには MGS 製品として認定されている。一方、スルホネートに関しては、効率的に増産できる技術革新が達成されていることから、2025年2月期の期末に向けて生産能力を現在の3倍規模にまで拡大してグローバルな観点における拡販を進めていくとのことである。

その他部門（売上高構成比 7.1%）

2025年2月期第2四半期（中間期）において売上高 1,208 百万円（32.7%増）である一方、2025年2月期に対する会社予想では売上高 2,100 百万円（7.0%増）が見込まれている。また、中期経営計画の前提においては、最終年度である 2027年2月期に対して売上高 2,500 百万円が計画されており、2024年2月期の実績を起点とした場合の中期経営計画の期間における年平均増収率は 8.4%となる。



出所：会社データ

第2四半期（中間期）の実績においては、エネルギーデバイス材料で売上高 105 百万円（94.6%増）、その他で売上高 1,103 百万円（28.9%増）である。そもそも両者は独立した部門なのだが、中期経営計画においては、両者を併せて1つの部門として取り扱われている。エネルギーデバイス材料においては、有機 EL に用いられる封止材や関連装置の開発・製造・販売などが展開されている。一方、その他の売上高の過半は株式会社マツケン（100%子会社）による、技術コンサルティング企業としての、排水処理装置及び排水処理剤（消耗品）の販売によって創出されている。第2四半期（6-8月）においては、大型プロジェクトに係る納入が実施されており、その他の売上高が大きく拡大している。なお、排水処理装置は MGS 製品として認定されており、この分だけ同社としての MGS 製品売上高比率が上昇しているとされている。

損益計算書（四半期累計／四半期）

損益計算書 (百万円)	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	前年比 純増減
	1Q 02/2024	2Q累計 02/2024	3Q累計 02/2024	4Q累計 02/2024	1Q 02/2025	2Q累計 02/2025	3Q累計 02/2025	4Q累計 02/2025		
売上高	7,596	15,386	23,731	31,886	8,254	17,102	-	-	+1,716	
売上原価	5,513	11,188	17,108	22,902	5,925	12,201	-	-	+1,013	
売上総利益	2,083	4,197	6,623	8,984	2,330	4,901	-	-	+704	
販売費及び一般管理費	1,826	3,669	5,572	7,759	2,140	4,230	-	-	+561	
営業利益	257	528	1,050	1,225	189	671	-	-	+143	
営業外損益	138	405	649	601	261	294	-	-	(111)	
経常利益	395	933	1,699	1,826	450	965	-	-	+32	
特別損益	-	-	250	229	(48)	(48)	-	-	(48)	
税金等調整前純利益	395	933	1,949	2,055	402	917	-	-	(16)	
法人税等合計	125	262	455	606	111	274	-	-	+12	
非支配株主に帰属する当期純利益	47	102	159	165	42	68	-	-	(34)	
親会社株主に属する当期純利益	224	569	1,335	1,283	250	576	-	-	+7	
売上高伸び率	+7.7%	+5.9%	+5.6%	+5.1%	+8.7%	+11.2%	-	-	-	
営業利益伸び率	+28.0%	+78.8%	+105.5%	+134.2%	(26.3%)	+27.0%	-	-	-	
経常利益伸び率	(16.1%)	+10.4%	+48.6%	+74.6%	+13.8%	+3.4%	-	-	-	
親会社株主に属する当期純利益伸び率	(29.5%)	+13.0%	+85.8%	+108.8%	+11.6%	+1.1%	-	-	-	
売上総利益率	27.4%	27.3%	27.9%	28.2%	28.2%	28.7%	-	-	+1.4%	
売上高販売管理費率	24.0%	23.8%	23.5%	24.3%	25.9%	24.7%	-	-	+0.9%	
営業利益率	3.4%	3.4%	4.4%	3.8%	2.3%	3.9%	-	-	+0.5%	
経常利益率	5.2%	6.1%	7.2%	5.7%	5.5%	5.6%	-	-	(0.4%)	
親会社株主に帰属する当期純利益率	2.9%	3.7%	5.6%	4.0%	3.0%	3.4%	-	-	(0.3%)	
法人税等合計／税金等調整前純利益	31.6%	28.1%	23.3%	29.5%	27.6%	29.9%	-	-	+1.8%	

損益計算書 (百万円)	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	前年比 純増減
	1Q 02/2024	2Q 02/2024	3Q 02/2024	4Q 02/2024	1Q 02/2025	2Q 02/2025	3Q 02/2025	4Q 02/2025	
売上高	7,596	7,790	8,345	8,155	8,254	8,848	-	-	+1,058
売上原価	5,513	5,675	5,920	5,794	5,925	6,276	-	-	+601
売上総利益	2,083	2,114	2,426	2,361	2,330	2,571	-	-	+457
販売費及び一般管理費	1,826	1,843	1,903	2,187	2,140	2,090	-	-	+247
営業利益	257	271	522	175	189	482	-	-	+211
営業外損益	138	267	244	(48)	261	33	-	-	(234)
経常利益	395	538	766	127	450	515	-	-	(23)
特別損益	-	-	250	(21)	(48)	-	-	-	-
税金等調整前純利益	395	538	1,016	106	402	515	-	-	(23)
法人税等合計	125	137	193	151	111	163	-	-	+26
非支配株主に帰属する当期純利益	47	55	57	6	42	26	-	-	(29)
親会社株主に属する当期純利益	224	345	766	(52)	250	326	-	-	(19)
売上高伸び率	+7.7%	+4.2%	+4.9%	+3.8%	+8.7%	+13.6%	-	-	-
営業利益伸び率	+28.0%	+188.3%	+141.7%	-	(26.3%)	+77.9%	-	-	-
経常利益伸び率	(16.1%)	+43.5%	+157.0%	-	+13.8%	(4.3%)	-	-	-
親会社株主に属する当期純利益伸び率	(29.5%)	+84.5%	+256.3%	-	+11.6%	(5.5%)	-	-	-
売上総利益率	27.4%	27.1%	29.1%	29.0%	28.2%	29.1%	-	-	+1.9%
売上高販売管理費率	24.0%	23.7%	22.8%	26.8%	25.9%	23.6%	-	-	(0.0%)
営業利益率	3.4%	3.5%	6.3%	2.1%	2.3%	5.4%	-	-	+2.0%
経常利益率	5.2%	6.9%	9.2%	1.6%	5.5%	5.8%	-	-	(1.1%)
親会社株主に帰属する当期純利益率	2.9%	4.4%	9.2%	(0.6%)	3.0%	3.7%	-	-	(0.7%)
法人税等合計／税金等調整前純利益	31.6%	25.5%	19.0%	142.5%	27.6%	31.7%	-	-	+6.2%

出所：会社データ、弊社計算

報告セグメント（四半期累計／四半期）

報告セグメント (百万円)	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	前年比 純増減
	1Q 02/2024	2Q累計 02/2024	3Q累計 02/2024	4Q累計 02/2024	1Q 02/2025	2Q累計 02/2025	3Q累計 02/2025	4Q累計 02/2025		
日本	4,968	9,966	15,295	20,229	5,213	10,796	-	-	+830	
中国	670	1,522	2,532	3,536	824	1,771	-	-	+249	
東南／南アジア(タイ、インドネシア、インド)	1,679	3,313	5,031	6,737	1,634	3,322	-	-	+9	
北米	278	584	872	1,384	583	1,213	-	-	+629	
売上高	7,596	15,386	23,731	31,886	8,254	17,102	-	-	+1,716	
日本	118	216	545	586	80	375	-	-	+159	
中国	28	80	160	118	(13)	51	-	-	(29)	
東南／南アジア(タイ、インドネシア、インド)	85	149	230	309	58	117	-	-	(32)	
北米	11	80	112	181	57	129	-	-	+49	
セグメント利益	242	525	1,046	1,194	183	673	-	-	+148	
調整額	15	3	4	31	6	(2)	-	-	(5)	
営業利益	257	528	1,050	1,225	189	671	-	-	+143	
日本	2.4%	2.2%	3.6%	2.9%	1.5%	3.5%	-	-	+1.3%	
中国	4.2%	5.3%	6.3%	3.3%	(1.6%)	2.9%	-	-	(2.4%)	
東南／南アジア(タイ、インドネシア、インド)	5.1%	4.5%	4.6%	4.6%	3.5%	3.5%	-	-	(1.0%)	
北米	4.0%	13.7%	12.8%	13.1%	9.8%	10.6%	-	-	(3.1%)	
セグメント利益率	3.2%	3.4%	4.4%	3.7%	2.2%	3.9%	-	-	+0.5%	
調整額	0.2%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	(0.0%)	-	-	(0.0%)	
営業利益率	3.4%	3.4%	4.4%	3.8%	2.3%	3.9%	-	-	+0.5%	

報告セグメント (百万円)	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	前年比 純増減
	1Q 02/2024	2Q 02/2024	3Q 02/2024	4Q 02/2024	1Q 02/2025	2Q 02/2025	3Q 02/2025	4Q 02/2025	
日本	4,968	4,998	5,329	4,934	5,213	5,583	-	-	+585
中国	670	852	1,010	1,004	824	947	-	-	+95
東南／南アジア(タイ、インドネシア、インド)	1,679	1,634	1,718	1,706	1,634	1,688	-	-	+54
北米	278	306	288	512	583	630	-	-	+324
売上高	7,596	7,790	8,345	8,155	8,254	8,848	-	-	+1,058
日本	118	98	329	41	80	295	-	-	+197
中国	28	52	80	(42)	(13)	64	-	-	+12
東南／南アジア(タイ、インドネシア、インド)	85	64	81	79	58	59	-	-	(5)
北米	11	69	32	69	57	72	-	-	+3
セグメント利益	242	283	521	148	183	490	-	-	+207
調整額	15	(12)	1	27	6	(8)	-	-	+4
営業利益	257	271	522	175	189	482	-	-	+211
日本	2.4%	2.0%	6.2%	0.8%	1.5%	5.3%	-	-	+3.3%
中国	4.2%	6.1%	7.9%	(4.2%)	(1.6%)	6.8%	-	-	+0.7%
東南／南アジア(タイ、インドネシア、インド)	5.1%	3.9%	4.7%	4.6%	3.5%	3.5%	-	-	(0.4%)
北米	4.0%	22.5%	11.1%	13.5%	9.8%	11.4%	-	-	(11.1%)
セグメント利益率	3.2%	3.6%	6.2%	1.8%	2.2%	5.5%	-	-	+1.9%
調整額	0.2%	(0.2%)	0.0%	0.3%	0.1%	(0.1%)	-	-	+0.1%
営業利益率	3.4%	3.5%	6.3%	2.1%	2.3%	5.4%	-	-	+2.0%

出所：会社データ、弊社計算

事業部門別売上高（四半期累計／四半期）

事業部門別売上高 (百万円)	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	前年比 純増減
	1Q 02/2024	2Q累計 02/2024	3Q累計 02/2024	4Q累計 02/2024	1Q 02/2025	2Q累計 02/2025	3Q累計 02/2025	4Q累計 02/2025		
特殊潤滑油	3,989	8,343	12,922	17,584	4,696	9,628	-	-	+1,285	
素材	998	1,940	2,993	3,909	1,076	2,114	-	-	+174	
ホットメルト接着剤	2,108	4,194	6,419	8,430	2,081	4,152	-	-	(42)	
エネルギーデバイス材料	30	54	124	200	52	105	-	-	+51	
その他	470	856	1,272	1,764	349	1,103	-	-	+247	
売上高	7,596	15,386	23,731	31,886	8,254	17,102	-	-	+1,716	
特殊潤滑油	+1.7%	+4.1%	+3.7%	+4.6%	+17.7%	+15.4%	-	-	-	
素材	+10.6%	+4.6%	+5.1%	+3.1%	+7.8%	+9.0%	-	-	-	
ホットメルト接着剤	+16.6%	+11.7%	+10.7%	+10.0%	(1.3%)	(1.0%)	-	-	-	
エネルギーデバイス材料	(31.9%)	(35.7%)	(3.3%)	(4.6%)	+71.4%	+94.6%	-	-	-	
その他	+26.4%	+5.3%	+2.6%	(5.1%)	(25.7%)	+28.9%	-	-	-	
売上高(前年比)	+7.7%	+5.9%	+5.6%	+5.1%	+8.7%	+11.2%	-	-	-	
特殊潤滑油	52.5%	54.2%	54.5%	55.1%	56.9%	56.3%	-	-	-	
素材	13.1%	12.6%	12.6%	12.3%	13.0%	12.4%	-	-	-	
ホットメルト接着剤	27.8%	27.3%	27.0%	26.4%	25.2%	24.3%	-	-	-	
エネルギーデバイス材料	0.4%	0.4%	0.5%	0.6%	0.6%	0.6%	-	-	-	
その他	6.2%	5.6%	5.4%	5.5%	4.2%	6.4%	-	-	-	
売上高(構成比)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-	-	-	

事業部門別売上高 (百万円)	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	前年比 純増減
	1Q 02/2024	2Q 02/2024	3Q 02/2024	4Q 02/2024	1Q 02/2025	2Q 02/2025	3Q 02/2025	4Q 02/2025		
特殊潤滑油	3,989	4,354	4,579	4,662	4,696	4,932	-	-	+578	
素材	998	942	1,053	916	1,076	1,038	-	-	+96	
ホットメルト接着剤	2,108	2,086	2,225	2,011	2,081	2,071	-	-	(15)	
エネルギーデバイス材料	30	24	70	76	52	53	-	-	+29	
その他	470	386	416	492	349	754	-	-	+368	
売上高	7,596	7,790	8,345	8,155	8,254	8,848	-	-	+1,058	
特殊潤滑油	+1.7%	+6.3%	+3.0%	+7.3%	+17.7%	+13.3%	-	-	-	
素材	+10.6%	(1.2%)	+5.9%	(3.0%)	+7.8%	+10.2%	-	-	-	
ホットメルト接着剤	+16.6%	+7.2%	+8.7%	+7.9%	(1.3%)	(0.7%)	-	-	-	
エネルギーデバイス材料	(31.9%)	(38.5%)	+59.1%	(6.2%)	+71.4%	+120.8%	-	-	-	
その他	+26.4%	(12.3%)	(2.6%)	(20.6%)	(25.7%)	+95.3%	-	-	-	
売上高(前年比)	+7.7%	+4.2%	+4.9%	+3.8%	+8.7%	+13.6%	-	-	-	
特殊潤滑油	52.5%	55.9%	54.9%	57.2%	56.9%	55.7%	-	-	-	
素材	13.1%	12.1%	12.6%	11.2%	13.0%	11.7%	-	-	-	
ホットメルト接着剤	27.8%	26.8%	26.7%	24.7%	25.2%	23.4%	-	-	-	
エネルギーデバイス材料	0.4%	0.3%	0.8%	0.9%	0.6%	0.6%	-	-	-	
その他	6.2%	5.0%	5.0%	6.0%	4.2%	8.5%	-	-	-	
売上高(構成比)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-	-	-	

出所：会社データ、弊社計算

貸借対照表（四半期）

貸借対照表 (百万円)	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	前年比 純増減
	1Q 02/2024	2Q 02/2024	3Q 02/2024	4Q 02/2024	1Q 02/2025	2Q 02/2025	3Q 02/2025	4Q 02/2025		
現金及び預金	3,935	3,756	5,952	5,636	4,993	5,064	-	-	+1,308	
受取手形及び売掛金	7,462	7,453	8,016	7,942	8,237	8,855	-	-	+1,402	
たな卸資産	6,451	6,378	6,505	6,687	7,035	6,955	-	-	+577	
その他	564	566	1,399	724	730	468	-	-	(98)	
流動資産	18,412	18,153	21,872	20,989	20,995	21,342	-	-	+3,189	
有形固定資産	8,666	9,114	9,540	10,140	10,280	10,453	-	-	+1,339	
無形固定資産	749	744	735	1,228	1,338	1,388	-	-	+644	
投資その他の資産合計	4,068	4,166	4,370	4,695	4,754	4,931	-	-	+765	
固定資産	13,483	14,024	14,645	16,063	16,372	16,772	-	-	+2,748	
繰延資産	18	32	42	-	-	-	-	-	(32)	
資産合計	31,913	32,208	36,559	37,053	37,367	38,114	-	-	+5,906	
支払手形及び買掛金	4,828	4,467	4,581	4,908	4,897	5,114	-	-	+647	
短期借入金	2,145	2,096	2,806	3,040	2,892	2,898	-	-	+802	
その他	1,787	1,629	2,176	1,912	2,257	1,953	-	-	+324	
流動負債	8,760	8,192	9,563	9,860	10,046	9,965	-	-	+1,773	
長期借入金	942	887	2,994	3,065	2,762	2,451	-	-	+1,564	
その他	667	748	814	1,006	970	1,048	-	-	+300	
固定負債	1,609	1,635	3,808	4,071	3,732	3,499	-	-	+1,864	
負債合計	10,369	9,827	13,371	13,931	13,778	13,463	-	-	+3,636	
株主資本	17,327	17,678	18,254	18,202	18,121	18,460	-	-	+782	
その他合計	4,217	4,703	4,934	4,920	5,467	6,190	-	-	+1,487	
純資産	21,544	22,381	23,188	23,122	23,588	24,650	-	-	+2,269	
負債純資産合計	31,913	32,208	36,559	37,053	37,367	38,114	-	-	+5,906	
自己資本	18,743	19,418	20,143	20,126	20,499	21,432	-	-	+2,014	
有利子負債	3,087	2,983	5,800	6,105	5,654	5,349	-	-	+2,366	
ネットデット	(848)	(773)	(152)	469	661	285	-	-	+1,058	
自己資本比率	58.7%	60.3%	55.1%	54.3%	54.9%	56.2%	-	-	-	
ネットデットエクイティ比率	(4.5%)	(4.0%)	(0.8%)	2.3%	3.2%	1.3%	-	-	-	
ROE(12ヵ月)	2.8%	3.5%	6.3%	6.6%	6.7%	6.3%	-	-	-	
ROA(12ヵ月)	3.1%	3.6%	4.7%	5.3%	5.4%	5.3%	-	-	-	
在庫回転日数	106	102	100	105	108	101	-	-	-	
当座比率	130%	137%	146%	138%	132%	140%	-	-	-	
流動比率	210%	222%	229%	213%	209%	214%	-	-	-	

出所：会社データ、弊社計算

キャッシュフロー計算書（四半期累計）

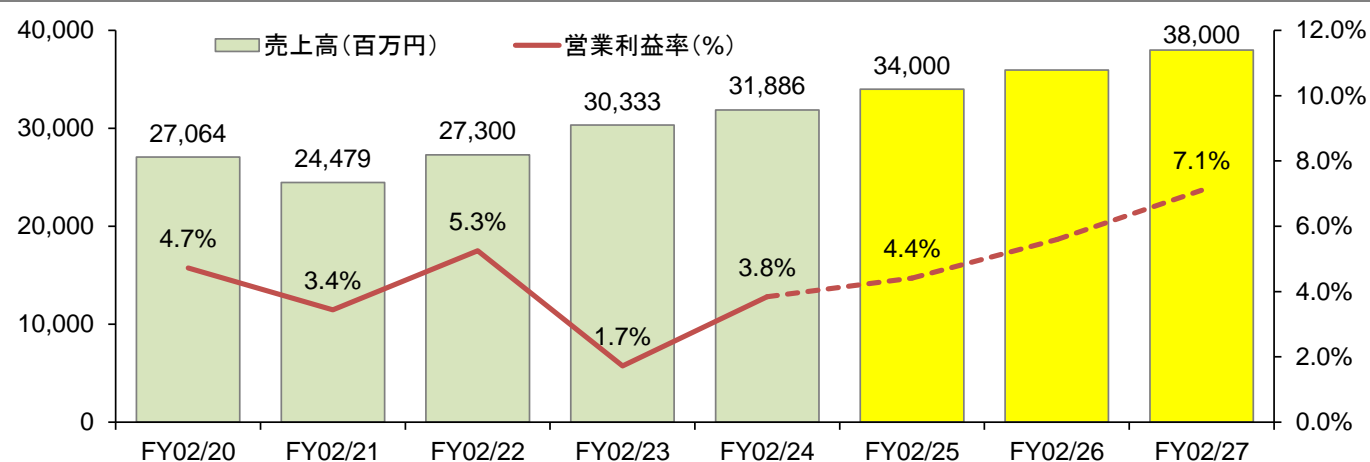
キャッシュフロー計算書 (百万円)	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	前年比 純増減
	1Q 02/2024	2Q累計 02/2024	3Q累計 02/2024	4Q累計 02/2024	1Q 02/2025	2Q累計 02/2025	3Q累計 02/2025	4Q累計 02/2025	
営業活動によるキャッシュフロー	-	1,004	-	2,934	-	1,074	-	-	+70
投資活動によるキャッシュフロー	-	(1,305)	-	(4,250)	-	(295)	-	-	+1,010
営業活動によるCF+投資活動によるCF	-	(301)	-	(1,316)	-	779	-	-	+1,080
財務活動によるキャッシュフロー	-	(115)	-	2,819	-	(1,216)	-	-	(1,101)

出所：会社データ、弊社計算

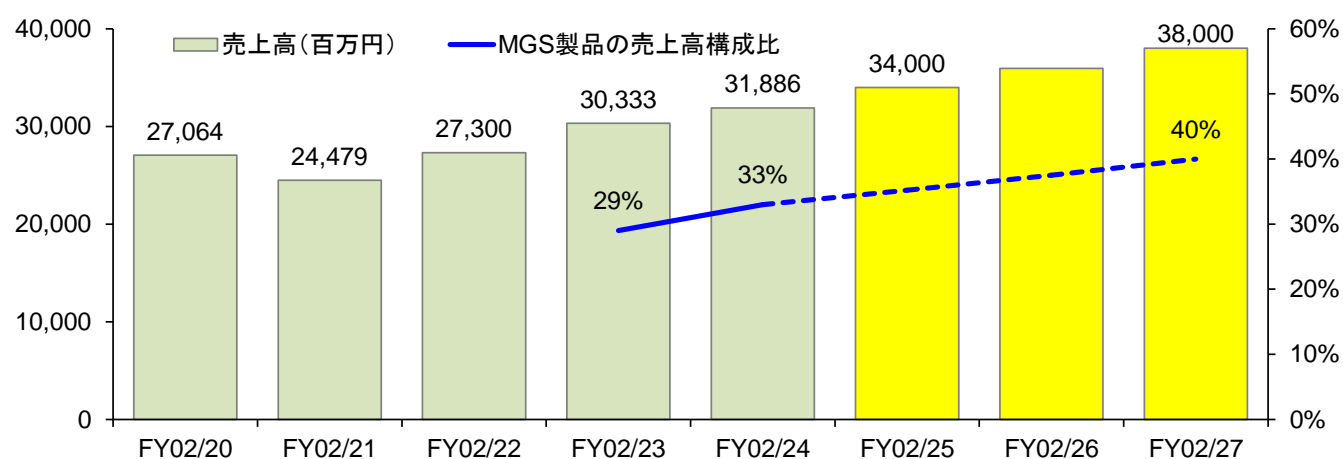
中長期業績見通し

2024年2月21日、同社は、第10次中期経営計画（2025年2月期～2027年2月期）を公表し、「持続可能な社会の実現」と「事業の付加価値の向上」の両立を実現することを通して中長期的に持続的な成長を達成していく方針であることを明らかにしている。経営目標として掲げられているのは、最終年度である2027年2月期に対して売上高38,000百万円、営業利益2,700百万円、経常利益3,000百万円、以上を達成することである。2024年2月期の実績を起点とした場合の当該期間に向けての年平均成長率（CAGR）は、売上高にして6.0%であり、営業利益にして30.1%である。また、MORESCO Green SX製品（MGS製品）で売上高構成比40%（2024年2月期の実績：33%）を達成することが計画されている。一方、ROEに関しては、最終年度である2027年2月期に対して8%水準（2024年2月期の実績：6.6%）を達成することが計画されている。

第10次中期経営計画（2025年2月期～2027年2月期）：売上高と営業利益率

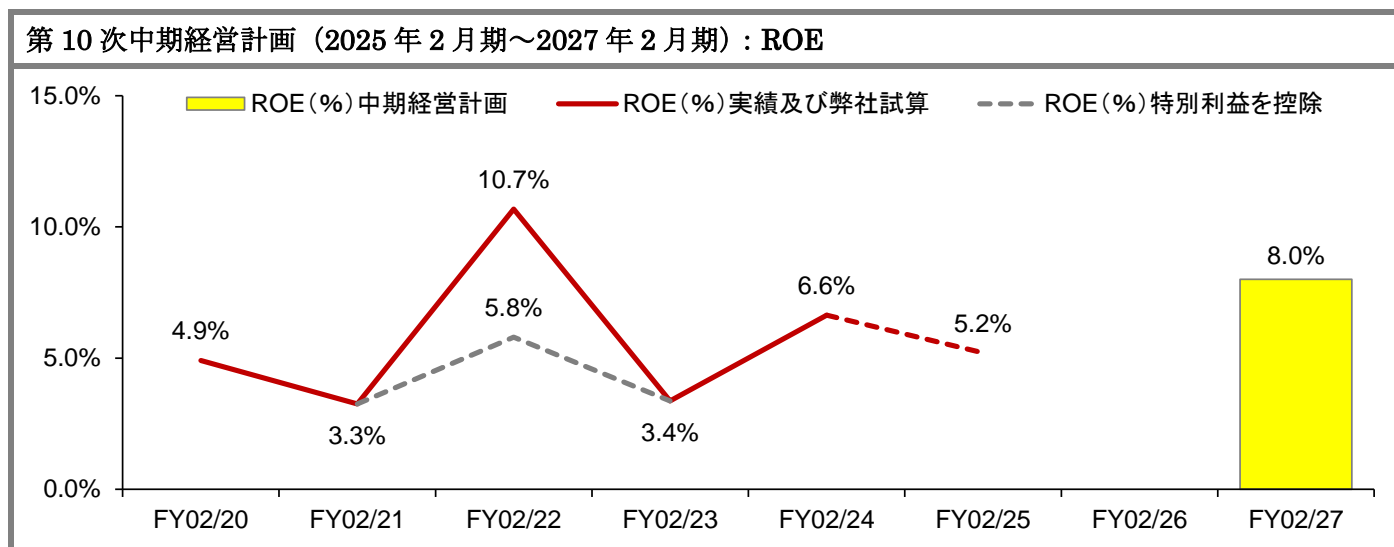


MGS製品の売上高構成比



出所：会社データ、弊社計算

一方、中期経営計画の公表（2024年2月21日）に引き続いて開示されている、2025年2月期に対する当初の会社予想（開示：2024年4月12日）は、現状に至る経緯において据え置かれている。売上高 34,000 百万円（前年比 6.6%増）、営業利益 1,500 百万円（22.5%増）、経常利益 1,850 百万円（1.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益 1,050 百万円（18.2%減）が見込まれている。また、営業利益率 4.4%（0.6%ポイント上昇）が見込まれている。一方、年間配当金予定も据え置かれている。2025年2月期に対して 45.00 円（配当性向 39.3%）である。なお、営業外損益が悪化する背景とし挙げられているのは、2024年2月期に対して計上されている為替差益 251 百万円によるインパクトが一巡することである。また、特別損益が悪化する背景として挙げられているのは、2024年2月期に対して計上されている負ののれん発生益 285 百万円によるインパクトが一巡することである。



出所：会社データ、弊社試算

上述の会社予想の前提に鑑みて弊社が試算するところによれば、2024年2月期から2025年2月期に向けてはROEの水準が一旦低下する方向性にあるのだが、中期経営計画の最終年度である2027年2月期に向けては増益が引き続くことを主因としてROEで8%水準を達成することが計画されている。

また、上述の増益の背景として挙げられているのが、MGS製品の拡販である。同社によれば、環境負荷の低減などに寄与することから付加価値及び売上総利益率が相対的に高いとされるMGS製品の拡販を推進することを通してセールスマックスの向上を推進していくとのことである。代表的なMGS製品として挙げられているのは、部門別で主力である特殊潤滑油部門に帰属する、少量塗布型離型剤と難燃性作動液である。少量塗布型離型剤に関しては、省エネルギーや環境保全、作業環境改善に寄与する側面が強いことから、同社としてのサステナビリティ経営の推進を目的として既存製品の改良や新製品の開発・製造・販売に注力していくとのことである。一方、基本的に鉄鋼用途向けとされる難燃性作動液に関しては、CO₂排出抑制や環境保全に寄与することが高く評価されているとのことである。また、同様の特性を有する排水処理装置は、2024年2月期よりMGS製品として認定されている。

更には、中期経営計画の前提には織り込まれていないものの、2025年に向けて目指されているペロブスカイト太陽電池向け封止材の実用化による寄与が発生する可能性が指摘されている。同社は、ホットメルト接着剤や有機EL用封止材で培ったノウハウを活用して、当該封止材の課題となっている耐久性の引き上げ（長寿命化）に向けての開発や試作品の実証実験を進めている。

2025年2月期に対する会社予想と実績

連結通期 (百万円)	発表日	イベント	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益
FY02/2025会予	2024年4月12日	4Q決算発表	34,000	1,500	1,850	1,050
FY02/2025会予	2024年7月12日	1Q決算発表	34,000	1,500	1,850	1,050
FY02/2025会予	2024年10月11日	2Q決算発表	34,000	1,500	1,850	1,050
		増減額	0	0	0	0
		増減率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
FY02/2025会予	2024年4月12日	4Q決算発表	34,000	1,500	1,850	1,050
FY02/2025会予	2024年10月11日	2Q決算発表	34,000	1,500	1,850	1,050
		増減額	0	0	0	0
		増減率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
連結半期 (百万円)	発表日	イベント	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益
1Q-2Q FY02/2025会予	2024年4月12日	4Q決算発表	-	-	-	-
1Q-2Q FY02/2025会予	2024年7月12日	1Q決算発表	-	-	-	-
1Q-2Q FY02/2025実績	2024年10月11日	2Q決算発表	17,102	671	965	576
		増減額	-	-	-	-
		増減率	-	-	-	-
1Q-2Q FY02/2025会予	2024年4月12日	4Q決算発表	-	-	-	-
1Q-2Q FY02/2025実績	2024年10月11日	2Q決算発表	17,102	671	965	576
		増減額	-	-	-	-
		増減率	-	-	-	-
連結半期 (百万円)	発表日	イベント	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益
3Q-4Q FY02/2025会予	2024年4月12日	4Q決算発表	-	-	-	-
3Q-4Q FY02/2025会予	2024年7月12日	1Q決算発表	-	-	-	-
3Q-4Q FY02/2025会予	2024年10月11日	2Q決算発表	16,898	829	885	474
		増減額	-	-	-	-
		増減率	-	-	-	-
3Q-4Q FY02/2025会予	2024年4月12日	4Q決算発表	-	-	-	-
3Q-4Q FY02/2025会予	2024年10月11日	2Q決算発表	16,898	829	885	474
		増減額	-	-	-	-
		増減率	-	-	-	-

出所：会社データ、弊社計算

5.0 財務諸表

損益計算書

損益計算書	連結実績 通期	連結実績 通期	連結実績 通期	連結実績 通期	連結実績 通期	連結予想 通期	前年比 純増減
(百万円)	02/2020	02/2021	02/2022	02/2023	02/2024	02/2025	
売上高	27,064	24,479	27,300	30,333	31,886	34,000	+2,114
売上原価	18,330	16,640	18,575	22,204	22,902	-	-
売上総利益	8,734	7,838	8,725	8,129	8,984	-	-
販売費及び一般管理費	7,456	6,996	7,291	7,606	7,759	-	-
営業利益	1,279	842	1,434	523	1,225	1,500	+275
営業外損益	289	188	577	523	601	350	(251)
経常利益	1,568	1,030	2,011	1,046	1,826	1,850	+24
特別損益	-	(119)	833	-	229	-	-
税金等調整前純利益	1,568	911	2,844	1,046	2,055	-	-
法人税等合計	540	240	831	320	606	-	-
非支配株主に帰属する当期純利益	251	153	205	112	165	-	-
親会社株主に属する当期純利益	776	518	1,808	615	1,283	1,050	(233)
売上高伸び率	(6.0%)	(9.6%)	+11.5%	+11.1%	+5.1%	+6.6%	-
営業利益伸び率	(34.4%)	(34.1%)	+70.3%	(63.5%)	+134.2%	+22.5%	-
経常利益伸び率	(28.8%)	(34.3%)	+95.3%	(48.0%)	+74.6%	+1.3%	-
親会社株主に属する当期純利益伸び率	(46.0%)	(33.3%)	+249.1%	(66.0%)	+108.8%	(18.2%)	-
売上総利益率	32.3%	32.0%	32.0%	26.8%	28.2%	-	-
売上高販売管理費率	27.5%	28.6%	26.7%	25.1%	24.3%	-	-
営業利益率	4.7%	3.4%	5.3%	1.7%	3.8%	4.4%	+0.6%
経常利益率	5.8%	4.2%	7.4%	3.4%	5.7%	5.4%	(0.3%)
親会社株主に帰属する当期純利益率	2.9%	2.1%	6.6%	2.0%	4.0%	3.1%	(0.9%)
法人税等合計/税金等調整前純利益	34.4%	26.3%	29.2%	30.6%	29.5%	-	-

出所: 会社データ、弊社計算

報告セグメント

報告セグメント	連結実績 通期	連結実績 通期	連結実績 通期	連結実績 通期	連結実績 通期	連結予想 通期	前年比 純増減
(百万円)	02/2020	02/2021	02/2022	02/2023	02/2024	02/2025	
日本	19,005	17,220	18,385	19,637	20,229	-	-
中国	2,919	2,957	3,625	3,814	3,536	-	-
東南/南アジア(タイ、インドネシア、インド)	4,427	3,671	4,501	5,870	6,737	-	-
北米	713	631	789	1,011	1,384	-	-
売上高	27,064	24,479	27,300	30,333	31,886	34,000	+2,114
日本	909	438	805	33	586	-	-
中国	251	350	432	311	118	-	-
東南/南アジア(タイ、インドネシア、インド)	143	6	86	123	309	-	-
北米	(21)	43	107	87	181	-	-
セグメント利益	1,283	837	1,431	553	1,194	-	-
調整額	(4)	5	4	(30)	31	-	-
営業利益	1,279	842	1,434	523	1,225	1,500	+275
日本	4.8%	2.5%	4.4%	0.2%	2.9%	-	-
中国	8.6%	11.8%	11.9%	8.2%	3.3%	-	-
東南/南アジア(タイ、インドネシア、インド)	3.2%	0.2%	1.9%	2.1%	4.6%	-	-
北米	(2.9%)	6.8%	13.6%	8.6%	13.1%	-	-
セグメント利益率	4.7%	3.4%	5.2%	1.8%	3.7%	-	-
調整額	(0.0%)	0.0%	0.0%	(0.1%)	0.1%	-	-
営業利益率	4.7%	3.4%	5.3%	1.7%	3.8%	4.4%	+0.6%

出所: 会社データ、弊社計算

事業部門別売上高

事業部門別売上高 (百万円)	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結予想	前年比 純増減
	通期 02/2020	通期 02/2021	通期 02/2022	通期 02/2023	通期 02/2024	通期 02/2025	
特殊潤滑油	14,655	12,438	14,995	16,808	17,584	19,500	+1,916
素材	3,720	3,385	3,480	3,793	3,909	4,000	+91
ホットメルト接着剤	6,882	6,807	6,785	7,664	8,430	8,400	(30)
エネルギーデバイス材料	126	113	237	209	200	-	-
その他	1,628	1,682	1,794	1,859	1,764	-	-
化学品事業	27,011	24,425	27,292	30,333	31,886	34,000	+2,114
賃貸ビル事業	53	53	8	-	-	-	-
売上高	27,064	24,479	27,300	30,333	31,886	34,000	+2,114
特殊潤滑油	(7.0%)	(15.1%)	+20.6%	+12.1%	+4.6%	+10.9%	-
素材	(4.0%)	(9.0%)	+2.8%	+9.0%	+3.1%	+2.3%	-
ホットメルト接着剤	(6.0%)	(1.1%)	(0.3%)	+13.0%	+10.0%	(0.4%)	-
エネルギーデバイス材料	-	(10.3%)	+109.9%	(11.8%)	(4.6%)	-	-
その他	(5.3%)	+3.3%	+6.6%	+3.6%	(5.1%)	-	-
化学品事業	(6.1%)	(9.6%)	+11.7%	+11.1%	+5.1%	+6.6%	-
賃貸ビル事業	0.0%	0.0%	(84.2%)	-	-	-	-
売上高(前年比)	(6.0%)	(9.6%)	+11.5%	+11.1%	+5.1%	+6.6%	-
特殊潤滑油	54.1%	50.8%	54.9%	55.4%	55.1%	57.4%	-
素材	13.7%	13.8%	12.7%	12.5%	12.3%	11.8%	-
ホットメルト接着剤	25.4%	27.8%	24.9%	25.3%	26.4%	24.7%	-
エネルギーデバイス材料	0.5%	0.5%	0.9%	0.7%	0.6%	-	-
その他	6.0%	6.9%	6.6%	6.1%	5.5%	-	-
化学品事業	99.8%	99.8%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-
賃貸ビル事業	0.2%	0.2%	0.0%	-	-	-	-
売上高(構成比)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-

出所: 会社データ、弊社計算

貸借対照表

貸借対照表 (百万円)	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結予想	前年比 純増減
	通期 02/2020	通期 02/2021	通期 02/2022	通期 02/2023	通期 02/2024	通期 02/2025	
現金及び預金	3,576	4,108	4,001	4,256	5,636	-	-
受取手形及び売掛金	6,720	6,643	6,844	7,595	7,942	-	-
たな卸資産	4,779	4,242	5,326	6,306	6,687	-	-
その他	361	311	436	653	724	-	-
流動資産	15,436	15,304	16,607	18,810	20,989	-	-
有形固定資産	9,034	8,518	8,304	8,610	10,140	-	-
無形固定資産	1,046	792	633	589	1,228	-	-
投資その他の資産合計	2,613	3,093	3,465	4,002	4,695	-	-
固定資産	12,693	12,403	12,401	13,202	16,063	-	-
繰延資産	-	-	-	6	-	-	-
資産合計	28,129	27,707	29,008	32,017	37,053	-	-
支払手形及び買掛金	4,072	3,975	4,308	5,144	4,908	-	-
短期借入金	2,341	2,544	560	2,381	3,040	-	-
その他	1,650	1,602	2,392	2,074	1,912	-	-
流動負債	8,063	8,121	7,260	9,599	9,860	-	-
長期借入金	1,244	775	350	472	3,065	-	-
その他	612	649	847	707	1,006	-	-
固定負債	1,856	1,424	1,197	1,179	4,071	-	-
負債合計	9,919	9,545	8,457	10,778	13,931	-	-
株主資本	15,939	15,836	17,227	17,287	18,202	-	-
その他合計	2,270	2,327	3,324	3,953	4,920	-	-
純資産	18,209	18,163	20,551	21,240	23,122	-	-
負債純資産合計	28,129	27,707	29,008	32,017	37,053	-	-
自己資本	15,931	15,899	17,962	18,533	20,126	-	-
有利子負債	3,585	3,319	910	2,853	6,105	-	-
ネットデット	9	(789)	(3,091)	(1,403)	469	-	-
自己資本比率	56.6%	57.4%	61.9%	57.9%	54.3%	-	-
ネットデットエクイティ比率	0.1%	(5.0%)	(17.2%)	(7.6%)	2.3%	-	-
ROE(12ヵ月)	4.9%	3.3%	10.7%	3.4%	6.6%	-	-
ROA(12ヵ月)	5.6%	3.7%	7.1%	3.4%	5.3%	-	-
在庫回転日数	95	93	104	103	106	-	-
当座比率	128%	132%	149%	123%	138%	-	-
流動比率	191%	188%	229%	196%	213%	-	-

出所: 会社データ、弊社計算

キャッシュフロー計算書

キャッシュフロー計算書 (百万円)	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結実績	連結予想	前年比 純増減
	通期 02/2020	通期 02/2021	通期 02/2022	通期 02/2023	通期 02/2024	通期 02/2025	
営業活動によるキャッシュフロー	1,771	2,088	2,333	515	2,934	-	-
投資活動によるキャッシュフロー	(1,589)	(660)	603	(1,172)	(4,250)	-	-
営業活動によるCF+投資活動によるCF	182	1,428	2,936	(657)	(1,316)	-	-
財務活動によるキャッシュフロー	78	(1,019)	(2,937)	1,227	2,819	-	-

出所: 会社データ、弊社計算

1株当たりデータ

1株当たりデータ (株式分割調整前) (円)	連結実績 通期 02/2020	連結実績 通期 02/2021	連結実績 通期 02/2022	連結実績 通期 02/2023	連結実績 通期 02/2024	連結予想 通期 02/2025	前年比 純増減
期末発行済株式数(千株)	9,697	9,697	9,697	9,697	9,697	-	-
当期純利益/EPS(千株)	9,591	9,577	9,380	9,291	9,230	-	-
期末自己株式数(千株)	98	321	317	469	464	-	-
1株当たり当期純利益 (潜在株式調整後)	80.91	54.09	192.76	66.19	139.01	114.50	-
1株当たり純資産	1,659.74	1,695.81	1,914.94	2,008.49	2,179.85	-	-
1株当たり配当金	50.00	40.00	40.00	40.00	45.00	45.00	-
1株当たりデータ (株式分割調整後) (円)	連結実績 通期 02/2020	連結実績 通期 02/2021	連結実績 通期 02/2022	連結実績 通期 02/2023	連結実績 通期 02/2024	連結予想 通期 02/2025	前年比 純増減
株式分割ファクター	1	1	1	1	1	1	-
1株当たり当期純利益	80.91	54.09	192.76	66.19	139.01	114.50	-
1株当たり純資産	1,659.74	1,695.81	1,914.94	2,008.49	2,179.85	-	-
1株当たり配当金	50.00	40.00	40.00	40.00	45.00	45.00	-
配当性向	61.8%	74.0%	20.8%	60.4%	32.4%	39.3%	-

出所: 会社データ、弊社計算

Disclaimer

ここでの情報は、ウォールデンリサーチジャパンが当該事業会社の発信する「IR情報」を中立的かつ専門的な立場から要約して、レポート形式にまとめたものである。「IR情報」とは、即ち、当該事業会社に係る①弊社との個別取材の内容、②機関投資家向け説明会の内容、③適時開示情報、④ホームページの内容などである。

商号: 株式会社ウォールデンリサーチジャパン

本店所在地: 〒104-0061 東京都中央区銀座6丁目14番8号 銀座石井ビル4階

URL: <https://walden.co.jp/>

E-mail: info@walden.co.jp

Tel: 03-3553-3769